

科目ナンバリング		U-LAS02 20031 LJ37									
授業科目名 <英訳>		言語比較論Ⅰ Comparative Language Studies I					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 西脇 麻衣子		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
（総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）											
[授業の概要・目的]											
現代ドイツ語の主に形態・統語上の諸現象とその歴史的変化について考察する。その際、適宜、英語や他のゲルマン諸語との比較を行う。また、言語類型論的な視点も取り入れる。											
[到達目標]											
ドイツ語を「語学」ではなく、「言語学」の観点から捉えることができる。 ドイツ語史・ゲルマン語史について理解を深める。 同系統の言語を比較する方法論を学ぶ。											
[授業計画と内容]											
1．ゲルマン諸語について（概説） 2．ドイツ語の音韻体系とその歴史的変化について 3．ドイツ語の形態論1：名詞類の語形変化 4．ドイツ語の形態論2：強変化・弱変化動詞 5．ドイツ語の形態論3：動詞の接頭辞 6．ドイツ語の統語論1：冠詞 7．ドイツ語の統語論2：格 8．ドイツ語の統語論3：時称 9．ドイツ語の統語論4：受動形 10．ドイツ語の統語論5：叙法 11．ドイツ語の統語論6：従属節 12．ドイツ語の統語論7：語順 13．ドイツ語の統語論8：否定 14．ドイツ語の統語論9：不一致（性・数・格・時称など） 15：フィードバック											
授業で扱うテーマとその講義順序は履修者の関心によって変更することがある。											
[履修要件]											
ドイツ語の初級文法の知識があること。											
[成績評価の方法・観点]											
成績評価は授業への参加度（50％）及び学期末レポート（50％）に基づく。											
[教科書]											
使用しない											
----- 言語比較論Ⅰ(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----											

言語比較論Ⅰ(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業中に紹介する文献に目を通し理解を深めること。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]